

合田參町貳段廿代、屋敷壹所者

右當郷地頭職者、玄猷爲相傳私領(當知行)□□無相違地也。而

依有敬神之儀、於彼田地屋敷(限)□□永代所奉寄進也。但此

田内壹町貳段廿代(除カ)□□公田有限當米等、任先例可被致其

沙汰。且坪付別紙有之。若子孫中背此狀□致違亂煩者

可爲不孝仁也。仍爲後鏡寄進狀如件。

延文元年六月五日 沙彌玄猷 在判

六月十六日。大桑玄猷、石川郡白山宮に上林郷

内の田地を寄進す。

【白山比咩神社文書】 石川郡 四七〇

奉寄進 加賀國上林郷内田地事

合壹町捌段者(在坪一町四反眞貴名内 四反者福王名内也)坪付別紙在之

右田地者、依有所願成就、所奉寄進白山大神宮也。爲

御供田、永代可令知行候也。不可有萬難公事。若背此

狀、於致違亂煩子孫者、可行重科者也。仍寄進狀如件。

延文元年六月十六日 沙彌玄猷 在判

藤原光顯 在判

爲後證所加判形也 前對馬守用家 在判

(前對馬守用家に就いては延文四年六月の條参照。)

【白山比咩神社文書】 四七一

加賀國上林郷内田地坪付事

合

一所玖段眞貴名内 四至 限東江 限西上相四郎名田 屋敷下 限西下江堺

一所肆段卅代眞貴名内 四至 限東垣 限西畔

一所貳拾代眞貴名内 四至 限東江 限西垣

一所參段卅代福王名内 四至 限東江 限西河

一所貳拾代福王名代 四至 限東畔 限西江

以上壹町捌段定

右坪付注文如件。

延文元年七月十六日 藤原(光顯)

六月十六日。大桑玄猷等、石川郡金劔宮に上林

郷内の田地を寄進す。

【金劔神社文書】 石川郡 四七二

奉寄進

加賀國上林郷内田地事

合壹町捌段者(在坪一町四段眞貴名内 四反福王名内也)

右田地者、依有所願成就、所奉寄進金劔宮御供田、永代

可令知行候也。不可有萬難公事。若背此狀、於致違

亂煩子孫者、可行重科者也。仍寄進狀如件。

延文元年 沙彌玄猷 在判

六月十六日 藤原光顯 在判

前條之通相違無之、爲後證所加判形也。

(當惣)對馬守用家 在判

(この文書には前對馬守用家を對馬守用家とせり。)

七月廿六日。後光嚴院、山城臨川寺に寺領加賀

郡大野莊内黒田・無量寺兩村を安堵せしめ給ふ。

【臨川寺文書】 山城 四七三

當寺領加賀國大野莊内黒田・無量寺兩村知行不可有相違之由、天氣所候也。仍執達如件。

延文元年七月廿六日 左(四條藤家)中將 在判

臨川寺長老上人御房

【天龍寺文書】 山城 四七四

御札喜拜見仕候了。抑御領大野莊殺生禁斷之間事、不存等

閑候き。如此子細候間、彌向後可致嚴重之沙汰候也。其

子細定自御代官方被申候哉。恐惶敬白。

(年不詳)三月一日 前對馬守用家 在判

進上 臨川寺侍者御中

(第二通は臨川寺領石川郡大野莊のことに係るが故

に之を合叙す。)

七月廿六日。某、石川郡白山宮長吏にその免田

上林郷の下地を交付す。

【白山比咩神社文書】 石川郡 四七五

渡進 白山長吏御坊御免田上林郷下地坪付

合 一里内